

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和5年度実績・令和6年度計画)

参考資料

| 圏域施策大項目 | 圏域施策中項目 | 再掲 | 報告担当 | 管内実施主体 ^(注1) | 他自治体・関係団体等との連携 ^(注2) | 事業名 | 事業概要 | 事業期間 ^(注3) | R5年度計画・進捗 | R5年度実績 | R6年度計画 | 財源 ^(注4) |
|----------------------------------|---------------------------------------------|----|------|------------------------|--------------------------------------|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ②バーチャル観光やワーケーション需要等、新たな観光価値提供に向けた受け入れ環境整備 | | 白石市 | 白石市 | | 地域おこし協力隊を活用した観光振興事業 | 地域おこし協力隊による地域の魅力掘り起こし、地域資源を活用した観光事業の充実を目指す。 | R2～ | 甲冑体験については、インバウンド需要が回復傾向にあることから、外国人に好まれるよう体験内容のブラッシュアップを図りながら実施する。情報発信についても、外国人観光客の誘客に繋がるよう、多言語発信や掲載媒体を工夫し、インバウンド向けを意識した内容とする。 | インバウンド需要が回復傾向にあることから、外国人富裕層向けの本格甲冑体験プランを造成した。プロのカメラマンによる本格的な撮影をすることができ、白石市でできない体験としている。このほかSNSやYoutubeチャンネルを活用し、観光情報の発信を行ったり、テレビへ出演したりなど、白石市のプロモーションの一役を担っている。 | 令和5年度に達成した本格甲冑体験の体験者を増加させるため、体験内容のブラッシュアップや、旅行会社へのPRを行う。また、外国人観光客の誘客につながるよう、英語や中国語による、SNSや動画投稿サイトへの情報発信を行う。 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ②バーチャル観光やワーケーション需要等、新たな観光価値提供に向けた受け入れ環境整備 | | 蔵王町 | 蔵王町 | | 体験交流活動に係る情報発信用プラットフォーム整備事業 | 蔵王町公式ホームページ内に、体験交流活動に関するページを作成し、情報発信を行える体制を整えるとともに、担当職員により随時追加・更新することで、受入事業者の拡充を図る。 | R4～ | 体験活動内容の修正や、新規追加(削除)。 | 体験活動内容の修正や、新規追加(削除)。 | 体験活動内容の修正や、新規追加(削除)。 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ②バーチャル観光やワーケーション需要等、新たな観光価値提供に向けた受け入れ環境整備 | | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿まちづくり(株) | 農業体験などによる宿泊型交流事業 | 宿泊型交流施設を整備することにより、田植えや稲刈りを始めとした様々な農業体験による宿泊型の都市農村交流やグリーンツーリズムを推進する。 | R1～ | (株)ペガルタ仙台と七ヶ宿まちづくり(株)と連携し、町内の空き家をリノベーションした「ペガルタハウス」の畑を活用し、種まきから収穫、スタジアムでの販売を行ったほか、町内でできるアクティビティ「SUP体験」を展開することで町に訪れる交流人口の増加を図る。また、小学校や七ヶ宿ダム自然休養公園運動広場(スポーツパーク七ヶ宿ペガルタ仙台)を利用したサッカー教室や宿泊イベントを通してスポーツの振興を図る。 | (株)ペガルタ仙台と七ヶ宿まちづくり(株)と連携し、町内の空き家をリノベーションした「ペガルタハウス」の畑を使い、種まきから収穫、販売など年間を通してイベントを通して新たな七ヶ宿での楽しみを体験してもらった。スポーツの推進として、小学校や七ヶ宿ダム自然休養公園運動広場(通称:スポーツパーク七ヶ宿ペガルタ仙台)を会場にサッカー教室を行い、現役のサッカー選手との触れ合いを楽しんだ。 | (株)ペガルタ仙台と七ヶ宿まちづくり(株)と連携し、町内の空き家をリノベーションした「ペガルタハウス」の畑を活用し、種まきから収穫、販売など年間を通してイベントを展開することで町に訪れる交流人口の増加を図るほかSDGsにも資する。また、小学校や七ヶ宿ダム自然休養公園運動広場(通称:スポーツパーク七ヶ宿ペガルタ仙台)を利用したサッカー教室や宿泊イベントを通してスポーツの振興を図る。 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ②バーチャル観光やワーケーション需要等、新たな観光価値提供に向けた受け入れ環境整備 | | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿まちづくり(株) | 南蔵王やまびこの森整備事業 | 南蔵王の恵まれた自然環境を最大限に活かした観光拠点として再整備することで、宿泊交流人口の増加を図るとともに地元住民による味噌作り体験や豆腐作り体験などをおして地元の食文化と直にふれあう機会を創出することを目的とする。 | R1～ | キャンプ場運営等の既存事業のほか、施設を利用したイベントの実施、長らく休止状態にあった長老湖売店を再活用など、より多くの観光客に満足していただけるような事業展開を進めていく。 | 休止状態だった長老湖売店を復活させ、紅葉の時期などの集客につながった。SUP体験やボートの貸し出しも行い昨年度の倍近くの利用者を集めた。 | 引き続きキャンプ場運営だけでなく、長老湖でのアクティビティなど観光客につながる事業展開を行う。 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 白石市 | 白石市 七ヶ宿町 | ・山形県高島町 ・山形県南陽市 ・観光協会 ・旅館組合 | 国道113号(二市二町)観光推進協議会事業 | 国道113号沿線の宮城・山形2市2町の観光資源の共同PRと交流促進 | 継続 | 「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指し、高いプロモーション効果が期待できる媒体を選定して情報発信を行う。また、事業計画の際は、幅広い層から興味関心を待たれるよう事業内容を工夫して実施する。 | みちのくおとぎ街道フォトコンテストを令和5年10月1日から12月31日まで開催。入賞者には、宿泊施設利用券や各市町の特産品が当たる仕組みとして実施した。有効応募総数は273件で、宮城・山形県内外から応募があった。また、東北の道の駅で配布されるフリーペーパー「おでかけ・みちこ」(発行部数10,000部)に広告記事を掲載、各市町の秋の魅力をPRした。 | みちのくおとぎ街道フォトコンテストにおいて応募された作品を活用し、パンフレット等を作成する。また、「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指し、高いプロモーション効果が期待できる媒体を選定して情報発信を行う。 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 角田市 | 角田市 | | サイクルツーリズム推進計画策定 | 令和3年度までの専門家や愛好家からのアドバイスやサイクリングツアーの調査結果等に基づき、阿武隈急行サイクリングの活用など近隣自治体との連携を図りながら、市内に点在する観光地を結びつけるためのサイクルツーリズム推進計画を策定するもの。 | R4 | サイクルツーリズム推進計画に基づきサイクリストが訪れやすい環境整備やイベントの企画を予定。 | 6月3日 ファミリーサイクリングコース:角田市交通公園～道の駅かくた参加人数:12名 阿武隈川の土手沿いを走行し、グライダー滑空場を見学、パークゴルフ体験を行う。今年から県内のサイクリストにガイドを依頼して、内容を変更して実施した。 | サイクルツーリズム推進計画に基づくイベントの実施 ・ファミリーサイクリング | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 蔵王町 | 蔵王町 | | ダイレクトメール発送業務 | 町内観光施設や近隣施設をはじめ、関東や仙台空港直往便がある関西方面をターゲットに各宮城県事務所を通して、宮城県にゆかりの飲食店や土産店へ観光パンフレットを配架し観光PRを行う。 | R2～ | 町内観光施設や近隣施設へ配架し、引き続き観光PRに努める。 | 町内観光施設や近隣施設を中心に配架し、引き続き観光PRに努める。 | | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 蔵王町 | 蔵王町 | | 仙台駅構内PR事業 | 仙台駅構内において、蔵王町への観光誘客を目的に、広報直伝事業・イベント開催等を実施し、近郊からの誘客を図る。 | R6 | 単年度事業のため実施予定無し | 単年度事業のため実施せず | 仙台駅構内において物販を開催するとともに、移住定住の紹介ブースを設置するなど、観光目的以外での周遊も図る。 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿まちづくり(株) | 七ヶ宿ファンクラブ事業 | 「人と場所」や「人と人」の関係性を大切に、当町の応援団となるサポーターを募り、積極的な交流を図ることで、リピーターの拡大や移住定住につながる活動を行う。 | H28～ | 拡充した内容をPRし、多くの人に七ヶ宿ファンになってもらうよう情報発信していく。 | R5.3末時点の会員数:45 R6.1末現在の会員数:78 | 拡充した内容をPRし、多くの人に七ヶ宿ファンになってもらうよう情報発信し100人を目標とする。 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取組) | | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿町 | ・七ヶ宿町商工会 ・七ヶ宿町観光協会 | 七ヶ宿ブランド事業 | 七ヶ宿の優れた町産品等や取り組みに対し、七ヶ宿ブランドの認定を行う。 | H28～ | 既存ブランド品のパッケージ更新のほか、ブランド品の更新認定を行うと共に新規認定品の発掘にも取り組む。町内の直売施設やイベント等での販売のほか、町公式ショッピングサイト「なまいるストア」、パンフレット等を積極的に活用し、周知広報を行うと共に、販路拡大を目指しつつ引き続き七ヶ宿ブランドの認知を図っていく。 | ブランド品の新規、更新認定及び特選品昇格認定を行った。物産展等で積極的にブランド品を販売し、認知向上に努めた。パンフレットの更新、増刷を行った。新規認定4品、更新認定4品、特選品昇格1品 | 七ヶ宿ブランドの認知向上のため、なまいるストアの活用、SNSやホームページ等での周知、物産展などでのPRを行っている。 | |

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和5年度実績・令和6年度計画)

参考資料

| 圏域施策大項目 | 圏域施策中項目 | 再掲 | 報告担当 | 管内実施主体 ^(注1) | 他自治体・関係団体等との連携 ^(注2) | 事業名 | 事業概要 | 事業期間 ^(注3) | R5年度計画・進捗 | R5年度実績 | R6年度計画 | 財源 ^(注4) |
|----------------------------------|---------------------------------------------|----|------|------------------------|--------------------------------|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 大河原町 | 仙南2市7町 | | みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議事業 | 仙南地域の観光資源をつなぎ、交流人口を増加並びに地域活性化を図るため、仙南地域市町の連携によりサイクルツーリズム事業を推進する。 | R1~ | ・みやぎ蔵王三十六景デジタルスタンプラリー 開催期間:9月20日(水)~11月20日(月)、参加者:156名、地域特産品(賞品)10名に贈呈 ・受け入れ環境整備(サイクルラック設置等) 各市町にサイクルラック2基、のぼり旗2枚等を配付 ・SNS発信 令和4年度にInstagram、フェイスブックを開設。情報収集と投稿回数が課題。 ・初級サイクリスト体験ライド[村田町コース] 開催:12月28日(木)参加者:27名(インストラクター5名含む) | ・みやぎ仙南満喫ライド2024 スタート(ゴール)会場から、エリア内(3市町程度)のチェックポイントをサイクリングで巡り、時間内に会場に戻る。※ブルベを参考にルール作りを行う。 随所にエイドを設置し2市7町の地場産品等を提供する。 ・みやぎ仙南サイクリング満喫情報発信事業 InstagramのPR効果の高さを実感しているが、情報収集・投稿回数が課題。 委託により投稿、Instagram活用企画を充実させる。 | 市町村振興総合補助金 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 村田町 | 村田町観光物産協会 | スポーツランドSUGO | 観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」採択事業【武将カート】 | 村田町観光物産協会主催事業。伊達武将隊、山形愛の武将隊をゲストに呼び、カートによる対決(合戦)を実施。一般参加者を足軽隊として募集し、各武将隊チームに分かれてポイントを競うイベント。カートや貸出するプロテクター、ヘルメットなども全て武将仕様。 | R4 | R5年度もイベントを実施する予定。内容については現在検討中。 | R6年度に関しては検討中 | 観光庁 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 村田町 | 村田町スポーツランドSUGO | 宮城県大河原地方振興事務所 | FIMアジアロードレース選手権第3戦日本ラウンド | スポーツランドSUGOと村田町の共催で「FIMアジアロードレース選手権」を開催。スポーツランドSUGOでは15年ぶりとなる国際大会で日本を含めたアジア各国からトップライダーが参戦。今回のレースをきっかけにインバウンド観光客増を図る。 | R4 | 6月24日(土)~25日(日)の2日間、開催予定。インバウンド誘客増を図る。 | 日本を含めたアジア各国からトップライダーが参戦し、熱いレースが繰り広げられた。当日はスポーツランドSUGO内でアジアフードフェスティバルが開催され賑わいを見せた。 | R6年度は実施なし | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 村田町 | 村田町観光物産協会 | 村田町 | 観光HP構築事業 | 観光HP構築による観光情報の発信・プロモーションを行う | R2~ | 観光HPやSNSによる情報発信を実施し、観光客の誘致及び認知度の向上を図る。 | 昨年引き続き、観光HPなどで観光情報の発信店プロモーションを行った。 | 昨年引き続き、観光HPなどで観光情報の発信店プロモーションを行う | 地方創生交付金 |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 村田町 | 村田町商工会 | 村田町 | 商店街にぎわい創出事業。生活応援スタンプラリー事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している中小規模の小売・サービス事業者等の売上回復を図る | R2~ | そら豆が旬の時期である6月と、新そばの提供が始まる10月にスタンプラリーイベントを実施。町内の方及び町外観光客向けに、飲食店や店舗の周遊を促し、魅力の発信と売上増を図る。 | 商工会主催で開催、スタンプラリーイベントを通して町内の店舗の魅力発信を行った。 | 前年同様開催予定。 | 地方創生交付金 |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 村田町 | 村田町 | 村田町 | 宮城オルレ村田コース | 宮城オルレ5番目として仙南初オープンした宮城オルレ村田コース。オルレ村田コースをきっかけに国内外からの観光客増を図る。 | R5~ | 年に数回イベントを行いオルレやトレッキング好きの観光客層の誘客増を図る。 | 11月11日に村田コースオープニングイベントを開催。12月2日にはコースオープン記念トレッキングを開催。 | 秋に、宮城オルレフェアが県内の全コースで開催されるのに合わせ、村田コースでも開催予定。また、独自のイベントも開催予定 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 柴田町 | 柴田町 | | みやぎ蔵王ハートモニター花回廊推進協議会(県南2市9町) | ガーデンツーリズム推進事業 | R2~R4 | 現在、国土交通省が実施する「官民連携まちなか再生推進事業」に申請中。令和5年度は本補助金を活用しモニターツアーやキッチンカーキャラバンを実施予定。 | モニターツアー: 10月1日(日)柴田町(曼珠沙華まつり)~蔵王町(梨狩りほか) / 12月16日(土)大河原町(体験、イルミ)~柴田町(イルミ) キッチンカーキャラバン: 10月8日(日)村田町布袋まつり / 12月15日(金)~17日(日)大河原町イルミ | 現在、国土交通省が実施する「官民連携まちなか再生推進事業」に申請中。令和6年度は本補助金を活用しモニターツアーやキッチンカーキャラバンを実施予定。 | 市町村振興総合補助金 町費 |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 柴田町 | 柴田町 | 柴田町観光物産協会 | ウィズコロナにおける新しいマイクロツーリズム推進事業 | 感染対策を強化した新しい形のイベント | R4 | しばたオータムガーデンフェスタ(10月下旬) | 10月下旬に2日間実施し、2日間で2,200人が来場した。コンサートや軽トラガーデンコンテスト、花いけや花き即売会など、秋を彩るイベントとなった。 | 予算削減のため、開催なし | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 柴田町 | 柴田町 | | 「花のまち柴田」イベント開催実行委員会 みやぎ大菊花展柴田大会実行委員会 | 交流人口拡大事業 | | ・しばた紫陽花まつり(6月中旬~7月上旬予定) ・しばた曼珠沙華まつり(9月中旬~10月上旬予定) ・みやぎ大菊花展柴田大会(10月20日~11月13日予定) ・Shibata Fantasy Illumination(12月上旬~下旬予定) ・しばたスプリングフラワーフェスティバル(3月中旬予定) | ・紫陽花まつり:15,765人 ・曼珠沙華まつり:11,466人 ・みやぎ大菊花展柴田大会:5,000人 ・Shibata Fantasy Illumination:22,889人 ・しばたスプリングフラワーフェスティバル(3/10予定) | ・しばた紫陽花まつり(6月中旬~7月上旬予定) ・しばた曼珠沙華まつり(9月中旬~10月上旬予定) ・みやぎ大菊花展柴田大会(10月20日~11月13日予定) ・Shibata Fantasy Illumination(12月上旬~下旬予定) ・しばたスプリングフラワーフェスティバル(3月中旬予定) | 町費 |

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和5年度実績・令和6年度計画)

参考資料

| 圏域施策大項目 | 圏域施策中項目 | 再掲 | 報告担当 | 管内実施主体 ^(注1) | 他自治体・関係団体等との連携 ^(注2) | 事業名 | 事業概要 | 事業期間 ^(注3) | R5年度計画・進捗 | R5年度実績 | R6年度計画 | 財源 ^(注4) |
|----------------------------------|---------------------------------------------|----|-------|-------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 川崎町 | 川崎町 川崎町商工会 | 川崎町商工会 | ふるさと応援商品券発行事業 | 町内全世帯へ商品券を配布することにより、消費喚起及び地元のおよそを再発見する機会の創出を図る。 | R2~ | ・町民1人あたり6,000円分の商品券を配布し、約54,600千円の需要を創出する計画 ・令和5年6月より順次配布を開始し、7月1日から令和6年2月29日までの期間で使用率の向上を図る。 | ふるさと応援商品券発行事業 第1弾(6,000円分/人)事業費54,600千円 →対象者8,221人(実績人数8,199人) 第2弾(5,000円分/人)事業費45,350千円 →対象者8,128人(実績人数8,080人) 仙台発「大人の情報誌」りらくへの川崎町特集ページを設けた観光PR掲載(9月号7頁) 別冊として、掲載箇所を抜粋し、小冊子として10,000部を発行、主要観光施設等へ配架及び町PRイベント等で配付し交流人口の増加を図った。 | 川崎町プレミアム商品券(予算額4,500千円) →3割増(10,000円で13,000円分)1,000セット 町民の購買意欲を喚起し、町内経済を循環させ売上高の復調を図る。 | 町費 |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 川崎町 | 川崎町 | | 川崎町総合観光・物産情報誌製作事業 | 観光需要の変化に伴う紙面情報の精査と更新により、新たな誘客を図る。 | R5 | 秋の行楽シーズンに向けた作製予定 | | 観光情報誌への川崎町特集ページを設けた観光PR掲載を予定。小冊子には観光情報誌として思わず手に入るような工夫を行う。 掲載内容については、観光のみならず地域振興に繋がるような紙面情報として発信する。 | 町費 |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 川崎町 | 川崎町 | | 包括的シティブロモーション事業 | 新型コロナウイルスの影響により、荒吐は2年連続で中止となり、若い世代に向け、川崎町を広くPRする機会が失われた。これを挽回するため、様々なメディアを活用したシティブロモーションを実施するもの。 | R3~ | ・Youtubeコンテンツ制作 ・ラジオ番組制作 ※一般財源 | ・Youtubeコンテンツ制作 →全12回 →全24回(3/4時点21回) ・ラジオ番組制作 →全24回(3/4時点22回) | ・Youtubeコンテンツ制作 →全12回 ・SNS/ショート動画制作(回数未定) ・ラジオ番組制作 →全24回 ※依頼したいイベントは継続し、前例踏襲の偏りなく関心度の高い話題の提供とする。 | 町費 |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 丸森町 | 丸森町 丸森町商工会 | 丸森町商工会 | 丸森町町内経済活性化事業 | 新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ地域経済の活性化を図る。 | R3~ | 実施予定なし 【5割増商品券販売会】 ・R5年7月22日に販売会を実施予定 1セット7,500円分(500円×15枚綴り)を5,000円で10,000セット販売予定 | 【5割増商品券販売会】 ・R5年7月22日に販売会を実施 1セット7,500円分(500円×15枚綴り)を5,000円で10,000セット販売 | 【2割増商品券販売会】 2,000セット販売予定 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 大河原地振 | 大河原地振 | ・管内市町 ・山形県置賜地域 ・福島県北地域 | 広域観光・物産情報の発信強化事業 | ①SNSを活用した観光PRの強化 ②「ひなの郷せんなん」 | R4 | ・公式Instagramによるフォトキャンペーン(令和5年8月~11月) ・「ひなの郷せんなん」による一体的PR(令和6年1月~3月) | ・X(旧Twitter)キャンペーン年2回実施(8月、2月)フォロワー約5,100人増(1.4万人の向上を図る) ・Instagramフォトキャンペーン(8/1~11/15)応募総数333件、フォロワー約400人増(約1.1千人) ・管内のひな祭り情報を一体的にPRするポスター(150枚) & チラシ(15,000部)作成、隣接する山形・福島両県のひな情報や広域周遊モデルコースも掲載 | ・公式X(旧Twitter)を活用したSNSキャンペーンを実施することで、さらなる発信力の向上を図る。 ・管内ひな祭りイベントを一体的にPRするため、チラシ・ポスターを作成する。それに加え、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会と連携した周遊促進企画等を検討し、「ひなの郷せんなん」のイメージ定着と仙南地域の周遊促進を図る。 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 大河原地振 | 大河原地振 仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会 県南地域部会 (大河原地振、仙南2市7町、管内観光関連団体等) | ・管内市町(食育コーディネーター、生活改善グループ等) ・山形県置賜地域 ・国道113号線観光推進協議会 ・福島県福島市 ・福島県伊達市 | 広域連携による仙南地域への誘客促進・「食」のブランド化 | ①3県連携事業 ②道の駅等と連携したマルシェ開催 ③「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」普及促進事業 ④みやぎ蔵王温泉郷振興事業 ⑤仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会事業 | H30~ | 【3県連携事業】 ・道の駅等と連携したスイーツ&地域の逸品マルシェを年4回開催(5月・6月・10月・2月) ・「道の駅ふくしまつなごフェスタ」の開催(11/3~11/4)来場者数約9,000人 ・管内道の駅等と連携した地域の逸品及び仙南スイーツのマルシェ開催 ・仙南「推し麺」キャンペーン ・地域の逸品詰め合わせセットの販売促進 ・温泉PR動画の制作と情報発信 【県南地域部会】 ・特別企画「県南ご当地キャラクターを探せ！」 【県南地域部会】 ・仙南「推し麺」キャンペーン(地振と共催) ・サイクルツーリズム推進会議事業との連携 | 【3県連携事業】 ・道の駅等と連携したスイーツ&地域の逸品マルシェを年4回開催(5月・6月・10月・2月) ・山形置賜地域、福島県北地域と連携、応募総数110件、総シール枚数1,296枚(参加者1人当たりのシール枚数11.8枚)オールピンゴ17件 【大河原地振事業】 ・道の駅等と連携したスイーツ&地域の逸品マルシェを年4回開催(5月・6月・10月・2月) ・「道の駅ふくしまつなごフェスタ」の開催(11/3~11/4)来場者数約9,000人 ・管内道の駅等と連携した地域の逸品及び仙南スイーツのマルシェ開催 ・仙南「推し麺」キャンペーン ・地域の逸品詰め合わせセットの販売促進 ・温泉PR動画の制作と情報発信 【県南地域部会】 ・特別企画「県南ご当地キャラクターを探せ！」 【県南地域部会】 ・仙南「推し麺」キャンペーン(地振と共催) ・サイクルツーリズム推進会議事業との連携 | 【3県連携事業】 山形置賜地域、福島県北地域と連携し、フルーツを使用したスイーツを巡るデジタル周遊企画を実施 【大河原地振事業】 ・せんにゃんスイーツ&カフェマップ改訂 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントを年3回程度開催 ・「道の駅ふくしまつなごフェスタ」 ・「地域の逸品」販売店舗での販促PRグッズによる認知度向上 ・「湯めぐりにゃんこけし」を活用したインスタフォト企画 【県南地域部会】 ・「県南ご当地キャラクターを探せ！2023」 応募総数1,039通(前年度比103%) ・「仙南「推し麺」キャンペーン」(9/1~12/17)「おくずかけ」や「そば」をはじめ、地域の特色ある「麺」を「推し」麺として広域で一体的に情報発信、応募数185件、総シール枚数1,317枚(参加者1人当たりのシール枚数7.1枚)全店舗制覇6件 ・みやぎ蔵王三十六景サイクルスタンプラリーノベルティステッカー、賞品提供、モニターライドにおける補給食提供 | |
| (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組 | ③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込) | | 大河原地振 | 大河原地振 | ・管内市町 | 仙南アドベンチャーリズム推進事業 | 仙南地域の強みである豊かな自然環境を活用したアドベンチャープログラムを達成し、仙南地域の四季に応じた体験メニューを子育て世帯に向けて分かりやすく情報発信する。 | R4~R6 | ・キャンプ初心者に向けたモニターイベントを複数回実施【川崎町・丸森町】(令和5年9~11月) | ・R4年度、R5年度事業成果を踏まえ、仙南地域のアクティビティコンテンツを目的別にカテゴリ分けし情報を整理したWEBサイトを作成 ・仙台圏の子育て世帯向けに、当該WEBサイトに誘導するためのリーフレットを制作し、一体的な広報を実施 | 【川崎】1泊2日(9/23~24)7組24人 【丸森】1泊2日(10/14)9組29人 【丸森】1泊2日(10/15)9組28人 | |

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和5年度実績・令和6年度計画)

参考資料

| 圏域施策大項目 | 圏域施策中項目 | 再掲 | 報告担当 | 管内実施主体 ^(注1) | 他自治体・関係団体等との連携 ^(注2) | 事業名 | 事業概要 | 事業期間 ^(注3) | R5年度計画・進捗 | R5年度実績 | R6年度計画 | 財源 ^(注4) | |
|----------------------------------------------|---------------------------------------|----|-------|------------------------|-------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|--|
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRIによる誘客促進 | ①みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議における観光振興に向けた事業立案 | | 大河原地振 | 大河原地振 | みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議 | ブランド創造会議開催事業 | 仙南地域の観光産業・食産業等に携わる事業者が参集し、「みやぎ蔵王三十六景」を活用した「食と観光のブランド化」を理念とし、地域振興・産業振興に資する活動を検討する。 | 継続 | ①ブランド創造会議開催(みやぎ観光振興会議仙南圏域会議との併催(年3回程度)) ②第5期みやぎ観光戦略プランに基づく取組の進捗確認。みやぎ蔵王三十六景を活用した各種事業の検討 ③温泉分科会(必要に応じて開催) ④みやぎ蔵王温泉郷の連携した取組を検討 | ・第1回会議(7/3)出席者33名(うち委員13名)第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域施策の方向性の具体的事業の進捗状況、みやぎ蔵王三十六景地域の逸品の推奨」 ・第2回会議(12/25)出席者23名(うち委員11名)第5期みやぎ観光戦略プランの実施状況・今後の目指すべき姿、今後の観光振興施策と財源確保の方向性、宮城県観光連盟のDMO化 ・第3回会議(3/18)仙南圏域の観光施策の実施状況、「みやぎ仙南応援大使」の設置、みやぎ蔵王三十六景地域の逸品の推奨 | みやぎ蔵王三十六景を活用した地域振興・産業振興に資する活動の検討、第6期みやぎ観光戦略プラン案の検討、仙南地域の観光施策の検証等のため、各分野の代表による会議を開催する。 | | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRIによる誘客促進 | ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 | ○ | 白石市 | 白石市 | | 地域おこし協力隊による観光振興事業 | 地域おこし協力隊による地域の魅力掘り起こし、地域資源を活用した観光事業の充実を目指す。 | R2~ | 甲冑体験については、インバウンド需要が回復傾向にあることから、外国人に好まれるよう体験内容のブラッシュアップを図りながら実施する。情報発信についても、外国人観光客の誘客に繋がるよう、多言語発信や掲載媒体を工夫し、インバウンド向けを意識した内容とする。 | インバウンド需要が回復傾向にあることから、外国人富裕層向けの本格甲冑体験プランを造成した。プロのカメラマンによる本格的な撮影をすることができ、白石市でしかできない体験としている。このほかSNSやYoutubeチャンネルを活用し、観光情報の発信を行ったり、テレビへ出演したりなど、白石市のプロモーションの役割を担っている。 | 令和5年度に達成した本格甲冑体験の体験者を増加させるため、体験内容のブラッシュアップや、旅行会社へのPRを行う。また、外国人観光客の誘客につながるよう、英語や中国語による、SNSや動画投稿サイトへの情報発信を行う。 | | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRIによる誘客促進 | ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 | | 角田市 | 角田市 | ・亘理町 ・山元町 | イベント運営事業 | 登山ルートの紹介も兼ねて四方山の魅力を再発見してもらう。 | 継続 | ・関係市町と連携し参加者の募集を募り、参加者:29名 講師:亘理歩好会 4名 コース:稲村神社〜夜泣坂〜黒森山〜四方山山頂 亘理町、山元町、角田市の特産品をお土産として参加者へ提供。 | 10月28日(土) 参加者:29名 講師:亘理歩好会 4名 コース:稲村神社〜夜泣坂〜黒森山〜四方山山頂 亘理町、山元町、角田市の特産品をお土産として参加者へ提供。 | 関係市町と連携し参加者の募集を募り、登山ルートの設定や、四方山に詳しい講師を招き、四方山の良さを伝える。また、各町の特産品を活かしたお土産セット(菓子類)を用意し参加者へ提供する。 ・四方山トレッキングの開催(10月26日(土)予定) | | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRIによる誘客促進 | ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 | | 蔵王町 | 蔵王町 | (一社)蔵王町観光物産協会、蔵王町商工会、遠刈田温泉旅館組合 | 蔵王町体験交流活動推進協議会事業 | 蔵王町内の豊かな自然や産業、農山村文化などの多彩な資源を活用した都市部住民等との体験型交流事業を積極的に推進し、交流人口増加と地域産業の振興を図り、もって地域活性化に資することを目的とする。 | 継続 | ・事業の受け入れ体制整備 ・事業関係団体の連携、連絡調整及びリーダー等の育成 ・体験メニューの開発並びに情報発信 ・教育旅行セミナーへの参加 ・情報発信用プラットフォームの整備 | ・県内外より教育旅行の問い合わせの対応や学校や旅行会社の要望に合わせた町内各事業者との連絡調整を行った。 ・教育旅行セミナー(北海道・名古屋・大阪・福岡)と商談会に参加した。 ・協議会ホームページの内容を更新して情報発信を行った。 | 学校や旅行会社からの問い合わせの対応や町内受入事業者との連携を図り、満足度の高い体験を提供できるように努める。また、教育旅行セミナーなど商談会に参加して積極的な営業活動を行い新規の受入団体増加を目指す。継続してホームページを活用した情報発信を強化する。 | | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRIによる誘客促進 | ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 | ○ | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿町 | ・七ヶ宿町商工会 ・七ヶ宿町観光協会 | 七ヶ宿ブランド事業 | 七ヶ宿の優れた町産品等や取り組みに対し、七ヶ宿ブランドの認定を行う。 | H28~ | 既存ブランド品のパッケージ更新のほか、ブランド品の更新認定を行うと共に新規認定品の発掘にも取り組む。町内の直売施設やイベント等での販売のほか、町公式ショッピングサイト「なないろストア」、パンフレット等を積極的に活用し、周知・広報を行うと共に、販路拡大を目指しつつ引き続き七ヶ宿ブランドの認知を図っていく。 | ブランド品の新規、更新認定及び特選品昇格認定を行った。物産展等で積極的にブランド品を販売し、認知向上に努めた。パンフレットの更新、増刷を行った。新規認定4品、更新認定4品、特選品昇格1品 | 七ヶ宿ブランドの認知向上のため、なないろストアの活用、SNSやホームページ等での周知、物産展などでのPRを行っている。 | | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRIによる誘客促進 | ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 | | 七ヶ宿町 | 仙南2市7町 | | 仙南地域地場産業振興協議会 | 仙南2市7町が一体となり、地場産品の販路拡大に向けた事業を実施する。 | 継続 | 東京池袋のふるさとプラザにて物産展を開催予定。そのほか冬季の県庁販売会や物産イベントを開催予定。 | つながるフェスタ 11/3~11/4 みやぎふるさとプラザ販売 11/8~11/14 県庁販売 2/19~2/22 | 引き続き首都圏での観光PRや県庁販売、各種物産展への出店など仙南のPRを行う。 | | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRIによる誘客促進 | ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 | | 大河原町 | 大河原町 | 大河原町観光物産協会 | 食のブランド化事業 | 地域食材を活用した名物づくり | R1~ | 令和5年度で実施予定 | | 町内飲食店店主を講師として、2~3月に3回開催予定。プロならではの料理の知識、コツを伝えるとともに、参加者との交流、お店のPRの機会とし、まちなか飲食店のにぎわいづくりに繋げる。 | 令和5年度で終了予定。 観光物産協会主体での新規事業を検討、実施する予定。 | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRIによる誘客促進 | ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 | | 柴田町 | 大河原町 柴田町 | ・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会 | 「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業(インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業) | 大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。 | 継続 | 「一目千本桜」植樹100周年を記念したフォトパネル展やスタンプラリー等のイベントを実施予定。 | 【実施】 ・記念ロゴマーク作成 ・インスタグラムフォトキャンペーン ・フォトパネル展 ・デジタルスタンプラリー ・フォトロゲイニング大会 | なし | | |

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和5年度実績・令和6年度計画)

参考資料

| 圏域施策大項目 | 圏域施策中項目 | 再掲 | 報告担当 | 管内実施主体 ^(注1) | 他自治体・関係団体等との連携 ^(注2) | 事業名 | 事業概要 | 事業期間 ^(注3) | R5年度計画・進捗 | R5年度実績 | R6年度計画 | 財源 ^(注4) |
|---------------------------------------------|---------------------------------------|----|-------|---------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| (2)広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRIによる誘客促進 | ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 | ○ | 大河原地振 | 大河原地振 仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会 県南地域部会(大河原地振、仙南2市7町、管内観光関連団体等) | ・管内市町(食育コーディネーター、生活改善グループ等) ・山形県置賜地域 ・国道113号線観光推進協議会 ・福島県福島市 ・福島県伊達市 | 広域連携による仙南地域への誘客促進・「食」のブランド化 | ①3県連携事業 ②道の駅等と連携したマルシェ開催 ③「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」普及促進事業 ④みやぎ蔵王温泉郷振興事業 ⑤仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会事業 | H30～ | 【3県連携事業】 「道の駅等と連携したスイーツ&地域の逸品マルシェを年4回開催(5月・6月・10月・2月)」 「道の駅ふくしまつながらフェスタ」の開催(11/3～11/4)来場者数約9,000人 管内道の駅等と連携した地域の逸品及び仙南スイーツのマルシェ開催 地域の特産であるフルーツを使用したスイーツを切り口とした周遊企画 道の駅ふくしまつながらマルシェ開催 管内道の駅等と連携した地域の逸品及び仙南スイーツのマルシェ開催 地域の逸品詰め合わせセットの販売促進 温泉PR動画の制作と情報発信 【県南地域部会】 特別企画「県南ご当地キャラクターを探せ！」 「仙南」推し類」キャンペーン(地振と共催) 「サイクルツーリズム推進会議事業との連携 | 【3県連携事業】 山形置賜地域、福島県地域と連携し、フルーツを使用したスイーツを巡るデジタル周遊企画を実施 【大河原地振事業】 「せんにゃんスイーツ&カフェマップ改訂」管内道の駅等と連携したスイーツイベントを年3回程度開催 「道の駅ふくしまつながらフェスタ」 「地域の逸品」販売店舗での販促PRグッズによる認知度向上 「湯めぐりにゃんこけし」を活用したインスタフォト企画 【県南地域部会】 「県南ご当地キャラクターを探せ！2023」応募総数1,039通(前年度比103%) 「仙南」推し類」キャンペーン(9/1～12/17)「おくずかけ」や、「そば」をはじめ、地域の特色ある「種」を「推し」種として広域で一体的に情報発信、応募数185件、総シール枚数1,317枚(参加者1人当たりのシール枚数7.1枚)全店舗制覇6件・みやぎ蔵王三十六景サイクルスタンプラリーノベルティステッカー、賞品提供、モニターライドにおける補給食提供 | 【3県連携事業】 山形置賜地域、福島県地域と連携し、フルーツを使用したスイーツを巡るデジタル周遊企画を実施 【大河原地振事業】 「せんにゃんスイーツ&カフェマップ改訂」管内道の駅等と連携したスイーツイベントを年3回程度開催 「道の駅ふくしまつながらフェスタ」 「地域の逸品」販売店舗での販促PRグッズによる認知度向上 「湯めぐりにゃんこけし」を活用したインスタフォト企画 【県南地域部会】 「県南ご当地キャラクターを探せ！2024」 | |
| (2)広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRIによる誘客促進 | ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 | ○ | 大河原地振 | 大河原地振 | ・管内市町 | 仙南アドベンチャーツーリズム推進事業 | 仙南地域の強みである豊かな自然環境を活用したアドベンチャープログラムを造成し、仙南地域の四季に応じた体験メニューを子育て世帯に向けて分かりやすく情報発信する。 | R4～R6 | ・キャンプ初心者に向けたモニターイベントを複数回実施【川崎町・丸森町】(令和5年9～10月) | アウトドア体験初心者を対象とした自然体験プログラムの造成及びモニターイベントを管内のキャンプ場(不動尊公園キャンプ場、AONE×MATKA)を拠点として実施 【川崎】1泊2日(9/23～24)7組24人 デイ(10/14)9組29人 【丸森】デイ(10/15)9組28人 | ・R4年度、R5年度事業成果を踏まえ、仙南地域のアクティビティコンテンツを目的別にカテゴリ分けし情報を整理したWEBサイトを作成 ・仙台圏の子育て世帯向けに、当該WEBサイトに誘導するためのリーフレットを制作し、一体的な広報を実施 | |
| (2)広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRIによる誘客促進 | ③WEB、SNS等を活用した仙南地域の一体的な観光情報発信 | ○ | 白石市 | 白石市 七ヶ宿町 | ・山形県高島町 ・山形県南陽市 ・観光協会 ・旅館組合 | 国道113号(二市二町)観光推進協議会事業 | 国道113号沿線の宮城・山形2市2町の観光資源の共同PRと交流促進 | 継続 | 「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指し、高いプロモーション効果が期待できる媒体を選定して情報発信を行う。また、事業計画の際は、幅広い層から興味関心を得られるよう事業内容を工夫して実施する。 | みちのくおとぎ街道フォトコンテストを令和5年10月1日から12月31日まで開催。入賞者には、宿泊施設利用券や各市町の特産品が当たる仕組みとして実施した。有効応募総数は273件で、宮城・山形県内外から応募があった。また、東北の道の駅で配布されるフリーペーパー「おでかけみちこ」(発行部数10,000部)に広告記事を掲載、各市町の秋の魅力をPRした。 | みちのくおとぎ街道フォトコンテストにおいて応募された作品を活用し、パンフレット等を作成する。また、「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指し、高いプロモーション効果が期待できる媒体を選定して情報発信を行う。 | |
| (2)広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRIによる誘客促進 | ③WEB、SNS等を活用した仙南地域の一体的な観光情報発信 | ○ | 村田町 | 村田町観光物産協会 村田町 | 村田町 | 観光HP構築事業 | 観光HP構築による観光情報の発信・プロモーションを行う | R2～ | 観光HPやSNSによる情報発信を実施し、観光客の誘致及び認知度の向上を図る。 | 昨年引き続き、観光HPなどで観光情報の発信店プロモーションを行った。 | 昨年引き続き、観光HPなどで観光情報の発信店プロモーションを行う | 地方創生交付金 |
| (2)広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRIによる誘客促進 | ③WEB、SNS等を活用した仙南地域の一体的な観光情報発信 | ○ | 柴田町 | 大河原町 柴田町 | ・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会 | 「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業(インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業) | 大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。 | 継続 | ・2町共通桜パンフ、マップ製作 ・一目千本桜景観形成100年記念事業【思い出フォトパネル】 →2町6箇所実施 | ・2町共通桜パンフ、マップ製作 ・一目千本桜景観形成100年記念事業【思い出フォトパネル】 →2町6箇所実施 | 【デジタルスタンプラリー】 令和5年10月7日～令和6年1月14日 | |
| (2)広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRIによる誘客促進 | ③WEB、SNS等を活用した仙南地域の一体的な観光情報発信 | ○ | 川崎町 | 川崎町 | | 包括的シティプロモーション事業 | 新型コロナウイルスの影響により、荒吐は2年連続で中止となり、若い世代に向け、川崎町を広くPRする機会が失われた。これを挽回するため、様々なメディアを活用したシティプロモーションを実施するもの。 | R3～ | ・Youtubeコンテンツ制作 ・ラジオ番組制作 ※一般財源 | ・Youtubeコンテンツ制作 →全24回(3/4時点21回) ・ラジオ番組制作 →全24回(3/4時点22回) | ・Youtubeコンテンツ制作 →全12回 ・SNSショート動画制作(回数未定) ・ラジオ番組制作 →全24回 ※強調したいイベントは継続し、前例踏襲の偏りなく関心度の高い話題の提供とする。 | 町費 |

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和5年度実績・令和6年度計画)

参考資料

| 圏域施策大項目 | 圏域施策中項目 | 再掲 | 報告担当 | 管内実施主体 ^(注1) | 他自治体・関係団体等との連携 ^(注2) | 事業名 | 事業概要 | 事業期間 ^(注3) | R5年度計画・進捗 | R5年度実績 | R6年度計画 | 財源 ^(注4) |
|---------------------------------------------|-------------------------------|----|-------|------------------------|-------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ③WEB、SNS等を活用した仙南地域の一体的な観光情報発信 | ○ | 大河原地振 | 大河原地振 | ・管内市町 ・山形県置賜地域 ・福島県東北地域 | 広域観光・物産情報の発信強化事業 | ①SNSを活用した観光PRの強化 ②「ひなの郷せんなん」 | R4 | ・公式Instagramによるフォトキャンペーン(令和5年8月~11月) ・「ひなの郷せんなん」による一体的PR(令和6年1月~3月) | ・X(旧Twitter)キャンペーン年2回実施(8月、2月)フォロワー約5,100人増(1.4万人) ・Instagramフォトキャンペーン(8/1~11/15)応募総数333件、フォロワー約400人増(約1千人) ・管内ひな祭りイベントを一体的にPRするため、チラシ・ポスターを作成する。それに加え、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会と連携した周遊促進企画等を検討し、「ひなの郷せんなん」のイメージ定着と仙南地域の周遊促進を図る。 | ・公式X(旧Twitter)を活用したSNSキャンペーンを実施することで、さらなる発信力の向上を図る。 ・管内ひな祭りイベントを一体的にPRするため、チラシ・ポスターを作成する。それに加え、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会と連携した周遊促進企画等を検討し、「ひなの郷せんなん」のイメージ定着と仙南地域の周遊促進を図る。 | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション | ○ | 白石市 | 白石市 七ヶ宿町 | ・山形県高島町 ・山形県南陽市 ・観光協会 ・旅館組合 | 国道113号(二市二町)観光推進協議会事業 | 国道113号沿線の宮城・山形2市2町の観光資源の共同PRと交流促進 | 継続 | 「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指し、高いプロモーション効果が期待できる媒体を選定して情報発信を行う。また、事業計画の際は、幅広い層から興味関心を得られるよう事業内容を工夫して実施する。 | みちのくおとぎ街道フォトコンテストを令和5年10月1日から12月31日まで開催。入賞者には、宿泊施設利用券や各市町の特産品が当たる仕組みとして実施した。有効応募総数は273件で、宮城・山形県内外から応募があった。また、東北の道の駅で配布されるフリーペーパー「おでかけ・みちこ」(発行部数10,000部)に広告記事を掲載、各市町の秋の魅力をPRした。 | みちのくおとぎ街道フォトコンテストにおいて応募された作品を活用し、パンフレット等を作成する。また、「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指し、高いプロモーション効果が期待できる媒体を選定して情報発信を行う。 | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション | | 角田市 | 角田市 柴田町 丸森町 | ・阿武隈急行(株) ・沿線市町 | 阿武隈急行沿線開発推進協議会事業 | 阿武隈急行線の運営支援及び沿線開発の促進 | 継続 | ・あぶQウォークの開催(時期未定) ・沿線活性化事業の開催 ・阿武隈急行線利用促進事業の開催 | (1)沿線活性化事業の開催 ○あぶQウォーク(4月30日・10月1日開催) ・阿武隈急行線沿線の5自治体にウォーキングコースを設定し、参加者はウォーキングを楽しみながら各地の観光地を巡る。 ・4月30日:角田駅~菜の花畑(往復)約9.6km 参加人数:90名 ・10月1日:岡駅~角田宇宙センター(往復)約7.6km 参加人数:120名 ○わたしたちのあぶくま急行絵画コンクール 期間 11月25日~12月24日 ・沿線自治体の小学校低学年(1~2年生)の児童を対象に、阿武隈急行の絵画を募集し、阿武隈急行列車内に展示した。 (2)角田市単独の阿武隈急行線利用促進事業 ○体験乗車会とお絵かきトレイン(12月2日開催) 参加人数:37名 ・阿武隈急行駅長による「あぶ急クイズ」や切符の買い方体験、車両窓ガラスへのお絵かき体験を貸切車両で行った。 | 沿線活性化事業(予定) ・あぶQウォーク ・あぶくま急行絵画コンクール | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション | | 白石市 | 白石市 蔵王町 | 秋田県由利本荘市 | みちのく真田ゆかりの地事業 | 真田幸村公ゆかりの地で連携し、みちのく真田の歴史をPRする。 | 継続 | 11.5(日)、長野県上田市「上田真田まつり」に協議会として参加予定 | 10.7(土)白石市「鬼小十郎まつり」参加 10.14(土)-15(日)蔵王町「産業まつり」参加 11.5(日)長野県上田市「上田真田まつり」に協議会として参加 | 令和5年度でみちのく真田ゆかりの地観光推進協議会は解散するが、「上田真田まつり」における2市1町の合同PRは継続する。 | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション | ○ | 柴田町 | 大河原町 柴田町 | ・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会 | 「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業(インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業) | 大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。 | 継続 | 「一目千本桜」植樹100周年を記念したフォトパネル展やスタンプラリー等のイベントを実施予定。 | 【実施】 ・記念ロゴマーク作成 ・Instagramフォトキャンペーン ・フォトパネル展 ・デジタルスタンプラリー ・フォトロゲイニング大会 | なし | |
| (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション | ○ | 大河原地振 | 大河原地振 | ・管内市町 ・山形県置賜地域 ・福島県東北地域 | 広域観光・物産情報の発信強化事業 | ①SNSを活用した観光PRの強化 ②「ひなの郷せんなん」 | R4 | ・公式Instagramによるフォトキャンペーン(令和5年8月~11月) ・「ひなの郷せんなん」による一体的PR(令和6年1月~3月) | ・X(旧Twitter)キャンペーン年2回実施(8月、2月)フォロワー約5,100人増(1.4万人) ・Instagramフォトキャンペーン(8/1~11/15)応募総数333件、フォロワー約400人増(約1千人) ・管内ひな祭りイベントを一体的にPRするため、チラシ・ポスターを作成する。それに加え、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会と連携した周遊促進企画等を検討し、「ひなの郷せんなん」のイメージ定着と仙南地域の周遊促進を図る。 | ・公式X(旧Twitter)を活用したSNSキャンペーンを実施することで、さらなる発信力の向上を図る。 ・管内ひな祭りイベントを一体的にPRするため、チラシ・ポスターを作成する。それに加え、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会と連携した周遊促進企画等を検討し、「ひなの郷せんなん」のイメージ定着と仙南地域の周遊促進を図る。 | |

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和5年度実績・令和6年度計画)

参考資料

| 圏域施策大項目 | 圏域施策中項目 | 再掲 | 報告担当 | 管内実施主体 ^(注1) | 他自治体・関係団体等との連携 ^(注2) | 事業名 | 事業概要 | 事業期間 ^(注3) | R5年度計画・進捗 | R5年度実績 | R6年度計画 | 財源 ^(注4) |
|----------------------------------------|--------------------------------------------|----|------|------------------------|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | ○ | 白石市 | 白石市 | | 地域おこし協力隊による観光振興事業 | 地域おこし協力隊による地域の魅力掘り起こし、地域資源を活用した観光事業の充実を目指す。 | R2～ | 甲冑体験については、インバウンド需要が回復傾向にあることから、外国人に好まれるよう体験内容のブラッシュアップを図りながら実施する。情報発信についても、外国人観光客の誘客に繋がるよう、多言語発信や掲載媒体を工夫し、インバウンド向けを意識した内容とする。 | インバウンド需要が回復傾向にあることから、外国人富裕層向けの本格甲冑体験プランを造成した。プロのカメラマンによる本格的な撮影をすることができ、白石市でしかできない体験としている。このほかSNSやYoutubeチャンネルを活用し、観光情報の発信を行ったり、テレビへ出演したりなど、白石市のプロモーションの役に担っている。 | 令和5年度に造成した本格甲冑体験の体験者を増加させるため、体験内容のブラッシュアップや、旅行会社へのPRを行う。また、外国人観光客の誘客につながるよう、英語や中国語による、SNSや動画投稿サイトへの情報発信を行う。 | |
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | | 角田市 | 角田市 | | グリーンツーリズムによる体験型観光の実施 | 道の駅をプラットフォームとする地域資源をフル活用した体験型観光を推進 | R4 | 6月 梅もぎとり収穫体験 7月 酪農場と枝豆収穫体験 8月 とうもろこし収穫体験 9月 梨もぎとり体験 10月 枝豆収穫体験 11月 ねぎまつり(ねぎ収穫体験) | 農業収穫体験 6月19日 梅もぎとり収穫体験 青梅収穫体験、梅ジュース作り 8月20日 とうもろこし収穫体験 袋いっばい詰め放題 4月23日、5月14日、7月2日、9月3日 梨園再生チャレンジ 休耕農地の再生に取り組んでいる梨園を手伝い、収穫を体験。 | 農業収穫体験 6月 梅もぎとり収穫体験 8月 とうもろこし収穫体験 9月 梨もぎとり体験 10月 枝豆収穫体験 11月 ねぎまつり(ねぎ収穫体験) | |
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | ○ | 蔵王町 | 蔵王町 | (一社)蔵王町観光物産協会、蔵王町商工会、遠刈田温泉旅館組合 | 蔵王町体験交流活動推進協議会事業 | 蔵王町内の豊かな自然や産業、農山村文化などの多彩な資源を活用した都市部住民等との体験型交流事業を積極的に推進し、交流人口増加と地域産業の振興を図り、もって地域活性化に資することを目的とする。 | 継続 | ・事業の受け入れ体制整備 ・事業関係団体の連携、連絡調整及びリーダー等の育成 ・体験メニューの開発並びに情報発信 ・教育旅行セミナーへの参加 ・情報発信用プラットフォームの整備 | ・県内外より教育旅行の問い合わせの対応や学校や旅行会社の要望に合わせた町内各事業者との連絡調整を行った。 ・教育旅行セミナー(北海道・名古屋・大阪・福岡)と商談会に参加した。 ・協議会ホームページの内容を更新して情報発信を行った。 | 学校や旅行会社からの問い合わせの対応や町内受入事業者との連携を図り、満足度の高い体験を提供できるように努める。また、教育旅行セミナーなど商談会に参加して積極的な営業活動を行い新規の受入団体増加を目指す。継続してホームページを活用した情報発信を強化する。 | |
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | ○ | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿まちづくり(株) | 農業体験などによる宿泊型交流事業 | 宿泊型交流施設を整備することにより、田植えや稲刈りを始めとした様々な農業体験による宿泊型の都市農村交流やグリーンツーリズムを推進する。 | R1～ | (株)ベガルタ仙台と七ヶ宿まちづくり(株)と連携し、町内の空き家をリノベーションした「ベガルタハウス」の畑を活用し、種まきから収穫、販売など年間を通じたイベントを展開することで町に訪れる交流人口の増加を図る。また、小学校や七ヶ宿ダム自然休養公園運動広場(スポーツパーク七ヶ宿ベガルタ)を会場にサッカー教室を行い、現役のサッカー選手との触れ合いを楽しんだ。 | (株)ベガルタ仙台と七ヶ宿まちづくり(株)と連携し、町内の空き家をリノベーションした「ベガルタハウス」の畑を活用し、種まきから収穫、販売など年間を通じたイベントを展開することで町に訪れる交流人口の増加を図る。また、小学校や七ヶ宿ダム自然休養公園運動広場(スポーツパーク七ヶ宿ベガルタ)を会場にサッカー教室を行い、現役のサッカー選手との触れ合いを楽しんだ。 | (株)ベガルタ仙台と七ヶ宿まちづくり(株)と連携し、町内の空き家をリノベーションした「ベガルタハウス」の畑を活用し、種まきから収穫、販売など年間を通じたイベントを展開することで町に訪れる交流人口の増加を図る。また、小学校や七ヶ宿ダム自然休養公園運動広場(スポーツパーク七ヶ宿ベガルタ)を会場にサッカー教室を行い、現役のサッカー選手との触れ合いを楽しんだ。 | |
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | ○ | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿まちづくり(株) | 南蔵王やまびこの森整備事業 | 南蔵王の恵まれた自然環境を最大限に活かした観光拠点として再整備することで、宿泊交流人口の増加を図るとともに地元住民による味噌作り体験や豆腐作り体験などをおして地元の食文化と直にふれあう機会を創出することを目的とする。 | R1～ | キャンプ場運営等の既存事業のほか、施設を利用したイベントの実施、長らく休止状態にあった長老湖売店を再活用など、より多くの観光客に満足していただけるような事業展開を進めていく。 | 休止状態だった長老湖売店を復活させ、紅葉の時期などの集客につながった。SUP体験やボートの貸し出しも行い昨年度の倍近くの利用者を集めた。 | 引き続きキャンプ場運営だけでなく、長老湖でのアクティビティなど観光集客につながる事業展開を行う。 | |
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | ○ | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿町 | 七ヶ宿まちづくり(株) | 七ヶ宿ファンクラブ事業 | 「人と場所」や「人と人」の関係性を大切にし、当時の応援となるサポーターを募り、積極的な交流を図ることで、リピーターの拡大や移住定住につながる活動を行う。 | H28～ | 拡充した内容をPRし、多くの人に七ヶ宿ファンになってもらうよう情報発信していく。 | R5.3末時点の会員数:45 R6.1末現在の会員数:78 | 拡充した内容をPRし、多くの人に七ヶ宿ファンになってもらうよう情報発信し100人を目標とする。 | |
| (2) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | ○ | 村田町 | 村田町観光物産協会 | スポーツランドSUGO | 観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」採択事業【武将カード】 | 村田町観光物産協会主催事業。伊達武将隊、山形愛の武将隊をゲストに呼び、カーによる対決(合戦)を実施。一般参加者を足軽隊として募集し、各武将隊チームに分かれてポイントを競うイベント、カートや貸出するプロテクター、ヘルメットなども全て武将仕様。 | R4 | R5年度もイベントを実施する予定。内容については現在検討中。 | ・村田町観光物産協会の主催で、11月26日に開催。昨年に引き続き、伊達武将隊、山形愛の武将隊をゲストに呼び、対決(合戦)を実施した。一般参加者を足軽隊として募集し、各武将隊チームに分かれてポイントを競い合った。当日は一般参加者及び武将隊ファンなどが来場した。 | R6年度に関しては検討中 | 観光庁 |
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | | 柴田町 | 大河原町 柴田町 | | 「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・柴田町観光物産協 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会 | 「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業(「桜まつり」と「サイクルツーリズム」)、「ナイトツーリズム」を核とした広域連携での滞在コンテンツの強化による魅力アップ強化事業) | 継続 | 【大河原町】 ・おおがわら桜イルミネーション(12月上旬～1月上旬予定) 【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination(12月上旬～下旬予定) 【2町共通】 「一目千本桜」植樹100周年を記念したフォトパネル展やスタンプラリー等のイベントを実施予定。 | 【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination(12/1～12/30):22,889人 【2町共通】 「一目千本桜」植樹100周年を記念したフォトパネル展やデジタルスタンプラリー等のイベントを実施。 | 【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination(12月上旬～下旬予定):22,889人 | |
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | | 柴田町 | 柴田町 | | ・柴田町観光物産協 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会 | 光のまちづくり推進事業(ナイトツーリズム) | 継続 | ・Shibata Fantasy Illumination 2023開催 | ・Shibata Fantasy Illumination(12/1～12/30):22,889人 | ・Shibata Fantasy Illumination 2024(12月上旬～下旬予定) | |

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和5年度実績・令和6年度計画)

参考資料

| 圏域施策大項目 | 圏域施策中項目 | 再掲 | 報告担当 | 管内実施主体 ^(注1) | 他自治体・関係団体等との連携 ^(注2) | 事業名 | 事業概要 | 事業期間 ^(注3) | R5年度計画・進捗 | R5年度実績 | R6年度計画 | 財源 ^(注4) | |
|----------------------------------------|--------------------------------------------|----|---------|------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | | 丸森町 | (一財)丸森町観光物産振興公社 | まるとりグリーン・ツーリズム推進協議会 | グリーン・ツーリズムと運動した旅行業展開 | まるとりグリーン・ツーリズム推進協議会と丸森「こらいん」ツーリストが連携し、農業にとどまらない体験メニュー商品を造成・販売 | 継続 | ○七夕神社周辺を巡るツアー企画 ・大内地区に残る「七夕」という地名と「七夕神社」周辺を巡るツアー企画を7月に実施予定。それに合わせて、ツアーの時以外にもお客さまを呼び込むため、また知名度を挙げるために、七夕神社の御朱印の制作を検討。 ○町歩き、地域歩き企画 ・R5年度は大内の青葉温泉周辺の地域巡りなどを実施する予定で検討中。他の案としては筆甫の麓の平地域を候補として検討中。 ○葉拾い体験企画 ・昨年好評を受けてR5年度も秋に実施予定。中心となっている地域おこし協力隊の方、今後の収入につながっていくように現在検討中。 ○ころ柿作り体験 ・例年通り、開催予定。 | ○七夕神社周辺を巡るツアー企画 ・大内地区に残る「七夕」という地名と「七夕神社」周辺を巡るツアー企画を今年で開催。それに合わせて、ツアーの時以外にもお客さまを呼び込むため、また知名度を挙げるために、七夕神社の御朱印の制作。 ○町歩き、地域歩き企画 ・R5年度は大内の青葉温泉周辺の地域巡りなどを3月実施する予定。 ○葉拾い体験企画 ・昨年好評を受けてR5年度は秋に2回開催。 ○ころ柿作り体験 ・R5年度は秋に2回開催。 | ○七夕神社周辺を巡るツアー企画 ・大内地区に残る「七夕」という地名と「七夕神社」周辺を巡るツアー企画を今年で実施予定。それに合わせて、ツアーの時以外にもお客さまを呼び込むため、また知名度を挙げるために、七夕神社の御朱印の制作。 ・R6年度は地域巡り(場所は未定)などを実施する予定で検討中。 ○葉拾い体験企画 ・昨年好評を受けてR6年度も秋に実施予定。中心となっている地域おこし協力隊の方、今後の収入につながっていくように現在検討中。 ○ころ柿作り体験 ・例年通り、開催予定。 | | |
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 | | ○ 大河原地振 | 大河原地振 | ・管内内市町 | 仙南アドベンチャーツーリズム推進事業 | 仙南地域の強みである豊かな自然環境を活用したアドベンチャープログラムを造成し、仙南地域の四季に応じた体験メニューを子育て世帯に向けて分かりやすく情報発信する。 | R4~R6 | ・キャンプ初心者に向けたモニターイベントを複数回実施【川崎町・丸森町】(令和5年9~11月) | | | | |
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ②隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成 | | ○ 角田市 | 角田市 | | サイクルツーリズム推進計画策定 | 令和3年度までの専門家や愛好家からのアドバイスやサイクリングツアーの調査結果等に基づき、阿武隈急行サイクリングの活用など近隣自治体との連携を図りながら、市内に点在する観光地を結びつけるためのサイクルツーリズム推進計画を策定するもの。 | R4 | サイクルツーリズム推進計画に基づきサイクリストが訪れやすい環境整備やイベントの企画を予定。 | 6月3日 ファミリーサイクリングコース・角田市交通公園～道の駅かくだ参加人数:12名 阿武隈川の土手沿いを走行し、グライダー滑空場を見学、パークゴルフ体験を行う。今年から県内のサイクリストにガイドを依頼して、内容を変更して実施した。 | サイクルツーリズム推進計画に基づくイベントの実施 ・ファミリーサイクリング | | |
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ②隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成 | | ○ 大河原町 | 仙南2市7町 | | みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議 | 仙南地域の観光資源をつなぎ、交流人口等増加並びに地域活性化を図るため、仙南地域市町の連携によりサイクルツーリズム事業を推進する。 | R1~ | ・みやぎ蔵王三十六景デジタルスタンプラリー 受け入れ環境整備(サイクルラック設置等) ・SNS発信 | ・みやぎ蔵王三十六景デジタルスタンプラリー 受け入れ環境整備(サイクルラック設置等) ・SNS発信 | ・みやぎ仙南満喫ライド2024 スタート(ゴール)会場から、エリア内(3町程度)のチェックポイントをサイクリングで巡り、時間内に会場に戻る。※ブルベを参考にルール作りを行う。 各市町にサイクルラック2基、のぼり旗2枚等を配付 ・SNS発信 令和4年度にInstagram、フェイスブックを開設。情報収集と投稿回数が課題。 ・初級サイクリスト体験ライド【村田町コース】 開催:12月28日(木)参加者:27名(インストラクター5名含む) | 随所にエイドを設置し2市7町の地場産品等を提供する。 ・みやぎ仙南サイクリング満喫情報発信事業 InstagramのPR効果の高さを実感しているが、情報収集・投稿回数が課題。 委託により投稿、Instagram活用企画を充実させる。 | 市町村振興総合補助金 |
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ②隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成 | | ○ 柴田町 | 柴田町 | ・みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会(県南2市9町) | ガーデンツーリズム推進事業 | ・みやぎ蔵王を背景とした花風景と観光を結び付け、宮城県南エリアの認知度や交流人口及び関係事項の増加を図る。 ・ガーデンツーリズムを推進するとともに、自然景観、温泉、歴史、文化等の観光資源を活用し、地域経済の活性化を図る。 | R2~R4 | 現在、国土交通省が実施する「官民連携まちなか再生推進事業」に申請中。令和5年度は本補助金を活用しモニターツアーやキッチンカーキャラバンを実施予定。 10月8日(日)村田町布袋まつり / 12月15日(金)~17日(日)大河原町イルミ | モニターツアー: 10月1日(日)柴田町(曼珠沙華まつり)~蔵王町(梨狩りほか) / 12月16日(土)大河原町(体験、イルミ)~柴田町(イルミ) キッチンカーキャラバン: 10月8日(日)村田町布袋まつり / 12月15日(金)~17日(日)大河原町イルミ | 現在、国土交通省が実施する「官民連携まちなか再生推進事業」に申請中。令和6年度は本補助金を活用しモニターツアーやキッチンカーキャラバンを実施予定。 | 市町村振興総合補助金 町費 | |
| (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ②隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成 | | ○ 柴田町 | 大河原町 柴田町 | ・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・柴田町観光物産協 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会 | 「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業(「桜まつり」と「サイクルツーリズム」)、「ナイトツーリズム」を核とした広域連携での滞在コンテンツの強化による魅力アップ強化事業) | 大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。 | 継続 | 【大河原町】 ・おおがわら桜イルミネーション(12月上旬~1月上旬予定) 【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination(12月上旬~下旬予定) 【2町共通】 「一目千本桜」植樹100周年を記念したフォトパネル展やデジタルスタンプラリー等のイベントを実施予定。 | 【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination(12/1~12/30):22,889人 【2町共通】 「一目千本桜」植樹100周年を記念したフォトパネル展やデジタルスタンプラリー等のイベントを実施。 | 【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination(12月上旬~下旬予定):22,889人 | | |

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和5年度実績・令和6年度計画)

参考資料

| 圏域施策大項目 | 圏域施策中項目 | 再掲 | 報告担当 | 管内実施主体 ^(注1) | 他自治体・関係団体等との連携 ^(注2) | 事業名 | 事業概要 | 事業期間 ^(注3) | R5年度計画・進捗 | R5年度実績 | R6年度計画 | 財源 ^(注4) |
|----------------------------------------|-----------------------------------------|----|-------|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| (3) 広域連携による多様な魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実 | ②隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成 | ○ | 大河原地振 | 大河原地振 仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会 県南地域部会 (大河原地振、仙南2市7町、管内観光関連団体等) | 管内市町 (食育コーディネーター、生活改善グループ等) ・山形県置賜地域 ・国道113号線観光推進協議会 ・福島県福島市 ・福島県伊達市 | 広域連携による仙南地域への誘客促進・「食」のブランド化 | ①3県連携事業 ②道の駅等と連携したマルシェ開催 ③「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」普及促進事業 ④みやぎ蔵王温泉郷振興事業 ⑤仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会事業 | H30～ | 【3県連携事業】 ・各地域の特産であるフルーツを使用したスイーツを切り口とした周遊企画 ・道の駅ふくしまでのマルシェ開催 【大河原地振事業】 ・管内道の駅等と連携した地域の逸品及び仙南スイーツのマルシェ開催 ・仙南「推し類」キャンペーン ・地域の逸品詰め合わせセットの販売促進 ・温泉PR動画の制作と情報発信 【県南地域部会】 ・特別企画「県南ご当地キャラクターを探せ！」 ・仙南「推し類」キャンペーン(地振と共催) ・サイクルツーリズム推進会議事業との連携 | 【3県連携事業】 「至福のフルーツスイーツビンゴラリー」(9/1～12/17)山形置賜地域、福島県北地域と連携、応募総数110件、総シール枚数1,296枚(参加者1人当たりのシール枚数11.8枚)オールビンゴ17件 【大河原地振事業】 ・道の駅等と連携したスイーツ&地域の逸品マルシェを年4回開催(5月・6月・10月・2月) ・「道の駅ふくしまつながらフェスタ」の開催(11/3～11/4)来場者数約9,000人 ・管内の温泉PR動画「みやぎ仙南湯めぐりにゃんこけしの旅*」を更新(4施設)しSNSでPR ・「仙南で湯ったり「湯めぐりにゃんこけし」スタンプラリー」の実施(2/1～3/15)日帰り温泉スポット8カ所、買い物&グッズ交換施設9カ所、グッズ450個配布、900人入浴 【県南地域部会】 ・「県南ご当地キャラクターを探せ！2023」応募総数1,039通(前年度比103%) ・「仙南「推し類」キャンペーン」(9/1～12/17)「おくずかけ」や、「そば」をはじめ、地域の特色ある「類」を「推し」種として広域で一体的に情報発信、応募数185件、総シール枚数1,317枚(参加者1人当たりのシール枚数7.1枚)全店舗制覇6件・みやぎ蔵王三十六景サイクルスタンプラリーノベルティステッカー、賞品提供、モニターライドにおける補給食提供 | 【3県連携事業】 山形置賜地域、福島県北地域と連携し、フルーツを使用したスイーツを巡るデジタル周遊企画を実施 【大河原地振事業】 ・せんにゃんスイーツ&カフェマップ改訂 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントを年3回程度開催 ・「道の駅ふくしまつながらフェスタ」 ・「地域の逸品」販売店舗での販促PRグッズによる認知度向上 ・「湯めぐりにゃんこけし」を活用したインスタフォト企画 【県南地域部会】 ・「県南ご当地キャラクターを探せ！2024」 | |
| | | | | | | | | | | | | |
| (4) 仙南地域の観光を支える人材育成 | ①観光地リーダー研修、観光地づくりの意識啓発 | | 大河原地振 | 大河原地振 | 管内市町 | 仙南地域観光人材育成事業 | 地域の観光を担う人材育成を目的として、官・民、業種を超えた実務者層を対象とした講座を開催する。 | R5 | 第1部セミナー&第2部ワークショップ形式で年5回程度の連続講座を開催 | 宮城創生DMOに委託し、地域の観光に関わる官・民、業種を超えた実務者層を中心に、セミナーとワークショップの2部構成で年6回の連続講座を開催(①2/10/18、③4/11/7、⑤6/12/7)参加延べ人数:約60人 | ・R5事業成果を踏まえ、1年目内容のステップアップ ・教育サイドと連携し、地元高校生等による地元愛醸成や地域資源発掘などの人材育成(大河原産業高校との連携を想定) | |
| (5) インバウンド受け入れ体制の強化 | ①多言語WEBサイトやガイドブック等による観光情報の発信 | ○ | 柴田町 | 大河原町 柴田町 | 管内市町 | 「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 | 「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 (インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業) | 継続 | 「一目千本桜」植樹100周年を記念したフォトパネル展やスタンプラリー等のイベントを実施予定。 | 【実施】 ・記念ロゴマーク作成 ・インスタグラムフォトキャンペーン ・フォトパネル展 ・デジタルスタンプラリー ・フォトロケイング大会 | なし | |
| (5) インバウンド受け入れ体制の強化 | ①多言語WEBサイトやガイドブック等による観光情報の発信 | | 大河原地振 | 大河原地振 | (一社)宮城創生DMO | 仙南アルベルゴ・ディフーズ構想 | | 新規 | — | — | インバウンド向け商品造成、人材育成(研修会)等 | 観光庁 |
| (6) 「みやぎ蔵王」の多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ①国外・県外からの誘客に向けたプロモーション | ○ | 大河原地振 | 大河原地振 | 管内市町 | 仙南アドベンチャーツーリズム推進事業 | 仙南地域の強みである豊かな自然環境を活用したアドベンチャープログラムを造成し、仙南地域の四季に応じた体験メニューを子育て世帯に向けて分かりやすく情報発信する。 | R4～R6 | ・キャンプ初心者に向けたモニターイベントを複数回実施【川崎町・丸森町】(令和5年9～10月) | アウトドア体験初心者を対象とした自然体験プログラムの造成及びモニターイベントを管内のキャンプ場(不動尊公園キャンプ場、AONE×MATKA)を拠点として実施 【川崎】1泊2日(9/23～24)7組24人 【丸森】1泊2日(10/14)9組29人 【丸森】1泊2日(10/15)9組28人 | ・R4年度、R5年度事業成果を踏まえ、仙南地域のアクティビティコンテンツを目的別にカテゴリ分けし情報を整理したWEBサイトを作成 ・仙台圏の子育て世帯向けに、当該WEBサイトに誘導するためのリーフレットを制作し、一体的な広報を実施 | |
| (6) 「みやぎ蔵王」の多彩な魅力のPRによる誘客促進 | ①国外・県外からの誘客に向けたプロモーション | ○ | 大河原地振 | 大河原地振 | (一社)宮城創生DMO | 仙南アルベルゴ・ディフーズ構想 | | 新規 | — | — | インバウンド向け商品造成、人材育成(研修会)等 | 観光庁 |
| (8) 仙南地域の観光を支える人材育成 | ①教育現場における子ども達の地元愛醸成 | | 大河原地振 | 大河原地振 | 関係市町 | 小中学生キャリア教育プログラム | 地域産業の魅力に触れ、地域事業者等との交流の機会を通して小中学生の地域に対する愛着と誇りを醸成する。 | R5 | 総合的な学習の時間に実施 「蔵王ジオパークの取組」 越河小4・5年11名(5/31)、大鷹沢小5年9名(6/13)、福岡小5年30名(6/8) 「地域の観光の取組」 角田中1年136名(7/7、14)、槻木小6年71名(12/6) | 「蔵王ジオパークの取組」 越河小4・5年11名(5/31)、大鷹沢小5年9名(6/13)、福岡小5年30名(6/8) 「地域の観光の取組」 角田中1年136名(7/7、14)、槻木小6年71名(12/6) | 引き続き要望のある小中学校と調整し、市町関係課と連携しながら教育現場における子ども達の地元愛醸成(地域の観光の取組・蔵王ジオパークの取組) | |
| (8) 仙南地域の観光を支える人材育成 | ②地域住民による地域資源発掘や理解醸成、観光による持続可能な地域づくりへの啓発 | ○ | 大河原地振 | 大河原地振 | 管内市町 | 仙南地域観光人材育成事業 | 地域の観光を担う人材育成を目的として、官・民、業種を超えた実務者層を対象とした講座を開催する。 | R5 | 第1部セミナー&第2部ワークショップ形式で年5回程度の連続講座を開催 | 宮城創生DMOに委託し、地域の観光に関わる官・民、業種を超えた実務者層を中心に、セミナーとワークショップの2部構成で年6回の連続講座を開催(①2/10/18、③4/11/7、⑤6/12/7)参加延べ人数:約60人 | ・R5事業成果を踏まえ、1年目内容のステップアップ ・教育サイドと連携し、地元高校生等による地元愛醸成や地域資源発掘などの人材育成(大河原産業高校との連携を想定) | |

注1) 仙南地域の行政・観光協会・商工会・民間事業者等を記載

注2) 他地域の自治体や、関係団体(協議会等)との連携による取組の場合は、「他自治体・関係団体との連携」欄に連携先を記載

注3) 事業年度の定めがあるものは事業年度を記載

注4) 各種交付金、補助金を活用した事業について記載